

牧野富太郎 まきの とみちろう 植物學者、理學博士。文久二年四月二十四日佐
國生れ、昭和二十一年一月十八日歿（二六二一九五）。幼名誠太郎。號
結繩學人。明治十四年上京、東京大學植物學教室で分類學を學ぶ。一
十年有志として『植物學雜誌』を創刊。二十一年帝國大學助手、四十五年
東京帝大講師。各地で植物を採集し、新種多數を記録、分類學上の貢
績多人。三十二年歿後文化勳章受章。

著書『植物誌』（昭和十八年八月、千代田櫻井書店）、『わが昔々』

（合著・栗本昭編、昭和十八年八月、千代田東京講演會出版部）、『牧

野植物隨筆』（昭和二十一年六月、千代田鎌倉書房）、『四季の花と栗

實』（昭和二十四年八月、千代田通信教育振興會「教養の書」）、『若

き日の思ひ出』（合著・旺文社編、昭和二十年一月、千代田旺文社）。

『某月某日』（合著・湧口茂輝編、昭和二十一年四月、千五百日本経

済新聞社）、『牧野富太郎自叙傳』（昭和二十一年十一月、千代田長嶋

書房）等。